

【第6回 日本テレビ通り沿道まちづくり協議会のご報告】

10月22日（月）15時～17時30分、麴町出張所にて開催された第六回協議会の傍聴要旨を以下のとおりご報告いたします。

- 冒頭、事務局（千代田区）よりパブコメは議論が深まるまで実施しないと発言。
- 守る会推薦2名と女子学院、グロービス経営大学院は正式に委員委嘱されることに。
- 東京大学都市工学研究科城所哲夫先生によるケーススタディの発表。街づくりの世界的潮流のお話から始まり、番町の歴史的文脈や立地などから町並みの連続性が絶たれてしまい、圧迫感の強い150m超高層はお勧めできず、街並み誘導型※の60m案を推奨。
- 城所先生によると広場は大きく取るよりは日テレ通りの歩道を表参道以上の8.5mセットバックして素晴らしい歩行者空間を作り、盆踊りはその時間帯だけ歩行者天国にして行るのが非日常感もありお勧めであるとのことご提案。
- 広場については委員間で要不要についての議論があった。
- 東京メトロ麴町駅番町口バリアフリーの実現については異論は無し。
- 千代田区は質問書や陳情審査の参考人質疑にて問いただされている交通のアセスメントや、広聴（住民に広く知らしめる）などの宿題があるので時間をかけたいような姿勢に見えた。
- 山本座長より、広場はアトリウムやギャラリーという方法もあるのではとのことのお話。
（騒音の問題も解決できる）
- 守る会からの区長宛質問書回答、番町住民からの質問書回答、守る会からの区長宛追加質問が添付資料で紹介され、追加質問は現在回答に向けて庁内調整中とのこと。
- 守る会から委員各位に町並みを維持した再開発の成功例である銀座の視察会をご案内。
- 次回協議会は11月下旬、日テレより現行地区計画60mの範囲内でできる案も含め具体的な計画案の提示がなされる。
- 事務局（千代田区）はもっと多くの方に傍聴いただける会場を探す。
（注）今回は傍聴枠の20名が朝6時の予約開始から3～4時間で一杯になりました。
- 協議会の中で四番町町会の居住者・地権者・事業者への説明会開催の話があり、千代田区麴町地域まちづくり課の三本（みつもと）課長が説明に来られるとのこと。
（10月27日13時～15時@千代田女学園、定員100名。事前申込不要）

以上



番町の町並みを守る会
October 23, 2018